

ソフトボール男子西日本L 22日から最終節

平林金属ク初のV2へ

ソフトボール男子の西日本リーグは22、23日、高知市で最終第4節があり、平林金属ク(岡山市)が初の2連覇に挑む。4試合を残して通算10勝2敗で首位を快走するチーム。日本一を争う東西リ

◇西日本リーグ順位◇			◇順位終了時点		
(第3節)			勝敗		
①	平	チ	12	10	2
②	高	金	12	8	4
④	愛	属	12	8	7
⑤	大	ク	12	8	6
⑥	旭	ト	13	7	5
⑦	旭	郎	13	6	4
⑧	N	成	13	5	4
⑨	オ	崎	12	4	0

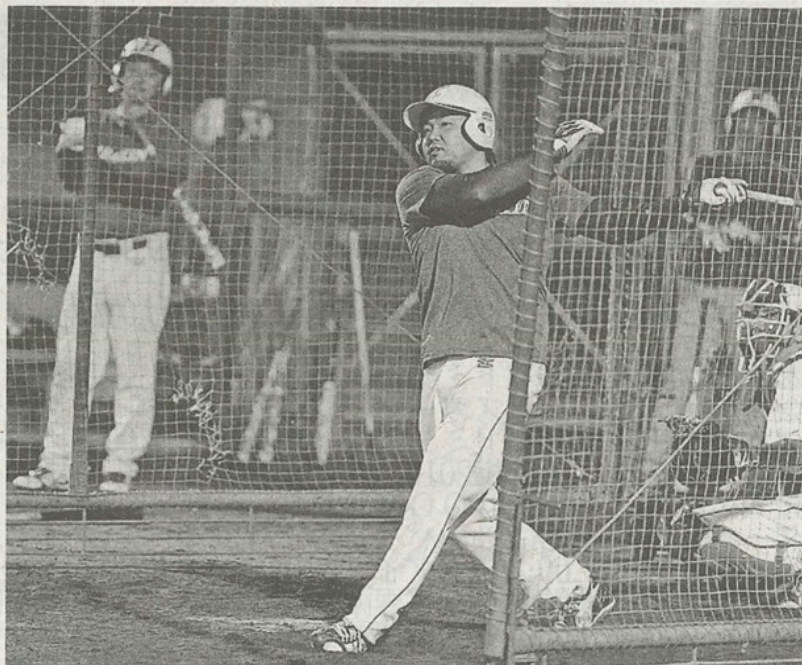
グの上位各4チームによる決勝トーナメント(11月12、13日・栃木県)に弾みをつけるべく、西日本王者へ突き進む。

22、23日に各2試合を行う平林金属クは3勝すれば優勝。8勝4敗の2位で並ぶダイワアクと高知パシフィックウェーブ(PW)の結果によっては22日に連覇が決まる可能性もある。数字的に優位な状況に立つが「変な余裕が出ると4連敗も十分ある」と主将の小見山は気を引き締める。チーム状態は良好だ。9月の全日本総合選手権

で4年ぶり3度目の栄冠をつかむと、平林金属ク主体で臨んだ先の岩手国体は準優勝。悲願の国体制覇はならなかったが、全4試合をほぼ一人で投げたエース松田、準決勝で決勝2ランを放ったベテラン宮宅ら一丸で戦い抜いた。

第3節(9月・北九州市)では4試合で計11本塁打、39得点と打線が爆発した。松田はリーグトップの防御率1・79と抜群の安定感を誇るだけに宮宅は「野手が早めに援護したい」と言う。今季は夏の全日本クラ

西日本リーグ2連覇を目指し、打撃練習に励む平林金属クの選手たち。HIRAKINライズ球場



ブ選手権も制しており、ここまで2冠。「一戦必勝。それぞれが自分の役割に徹してほしい」と吉村監督。地に足の着い

(森川進豪)

2016年10月14日(金)の山陽新聞朝刊で記事が紹介されました。
(山陽新聞社より許可を得て掲載しています)